

～日本赤十字社の創立150年（2027年）に向けた「長期ビジョン」の6つの事業戦略～  
【災害や紛争時における支援の充実とレジリエンスの強化】 【会員の赤十字運動への参画促進】  
【奉仕団等ボランティア主体の活動の拡充】 【超少子高齢社会における地域の健康・安全な生活の追求】  
【多様化が進む社会における人道の輪の拡大】 【国際赤十字との更なる協働】

長期ビジョン第一次中期事業計画（令和2年度～令和4年度）終了

**【長期ビジョン第二次中期事業計画（令和5年度～令和7年度）】**

【全社共通目標】

【国難級の大規模災害に対する事前・発災・復旧復興の各フェーズにおける日赤の総合力を発揮した人道支援活動の実施】

**【支部事業重点推進事項】**

- |  |                   |               |
|--|-------------------|---------------|
| 1 災害医療救護活動の推進                            | 4 ボランティアリーダー層の強化  | 6 青少年赤十字について  |
| 2 被災者支援活動の強化                             | 5 職員・ボランティア人材確保養成 | 7 地区・分区との関係強化 |
| 3 講習事業のノウハウや組織力を活用した地域づくりへの貢献に資する新たな事業展開 | 8 財源（事業財源の獲得）     |               |

**1 事業計画策定にあたっての考え方**

- ◎上記の支部事業重点推進事項に基づいて令和4年度と同様、定量（定性）目標を設定して実施していきます。  
◎昨年度、よりよい社会づくりの推進についてパートナーシップ関係を構築した明治安田生命保険鳥取支社様と様々な分野で綿密な連携を図りながら、各事業を推進していきます。（連携件数：事例5例以上を目指します）

**2 支部事業重点推進事項に対応する特徴的な内容及び【定量（定性）目標】** ○印：新規事業4つ

**1 災害医療救護活動の推進**

- 支部災対本部要員の対応能力の向上・強化を目的とした第5ブロック（中・四国各県支部）研修会の実施  
→【令和6年2月・鳥取市（主催：鳥取県支部）で開催：30人規模】
- 広域災害への「プッシュ型支援」を想定した第4ブロック（近畿各県支部）合同災害救護訓練への参加  
→【令和5年6月・兵庫県：鳥取県支部本部応援要員の派遣】

**2 被災者支援活動の強化**

- 災害派遣福祉チーム（DWAT）参加に向けた体制整備の推進  
→【鳥取県災害派遣福祉支援センターとの情報共有、管内施設の協力確認及び隊員候補者2名の選定】
- 県社協開催の災害ボランティアセンター運営研修会への赤十字ボランティアの参加  
→【県内3赤十字奉仕団ボランティア：10人以上】

**3 講習事業のノウハウや組織力を活用した地域づくりへの貢献に資する新たな事業展開**

- 小学校から高等学校等で『保健』科目授業で応急手当の授業を行う教職員への支援  
→【必要な内容を網羅した2時間半程度の講習会の開催：10人以上】

**4 ボランティアリーダー層の強化**

**5 職員・ボランティア人材確保・養成**

- 赤十字防災セミナー、講習事業を推進する指導者候補人材の発掘  
→【職員・ボランティアの中から候補人材3名の確保うち1名は養成】

**6 青少年赤十字（JRC）について**

- JRC加盟校に対し、取り組みやすい「プログラム」の開発による活動の提案及び赤十字ボランティアと連携した学校訪問による新規加盟促進  
→【加盟校の50%が提供プログラムの実施及び新規加盟校2校】
- 海外姉妹社青少年赤十字メンバーの県内招聘（2年に1回実施）による国際理解・親善の推進  
→【11月・アジア圏から2名：県内JRCメンバー100名以上との交流】

**7 地区・分区との関係強化**

- 地区分区訪問による連携の推進  
→【地区・分区（全21）の訪問】

**8 財源（活動資金の獲得）**

- 准認定ファンドレイザー有資格の専任スタッフと連携した法人（団体）訪問強化による活動資金の獲得  
→【訪問する法人数100社以上、新たな活動資金の獲得50万円以上】
- ダイレクトメール（DM）の強化による新たな法人寄付の獲得及び既協力法人からの寄付額アップ  
→【新たな法人寄付50万円、既協力法人からの増寄付額20万円増】